



第 79 号
 発行人
 (一財) 福井県剣道連盟
 会長 岩崎 貞夫
 事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
 榊マルツ電波二の宮店 附属舎
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

平成二十四年度
 部会・委員会報告

事業部会



部会長
 奥井 俊雄

事業部会は、福井県剣道連盟が一般財団法人に組織変更されたことにより、新たに設けられた部会で、5名の委員で活動しています。

主な事業活動は、

- 一、大会の開催に関する事(各種大会)
- 二、指導者の養成に関する事(全剣連講習会・伝達講習会等)
- 三、剣道の普及及び振興に関する事(世界一剣道教室開催等)です。

平成二十四年度の事業内容は、八

月二十六日北信越国民体育大会が県立武道館で開催され、各地区連盟及び関係各位の方々のご協力のもと成功裡に開催することができました。

六月十日(県立武道館)・九月二日(敦賀市中郷体育館)には、第47回東日本剣道中央講習会を受講された堀江範雄教士七段の講師のもと指導者の資質向上の講習会を開催し、多くの指導者の参加を頂きました。九月九日全日本剣道連盟後援の「剣道指導法講習会」を、講師に小坂達明範士八段(大阪府)をお迎えし開催しました。各地区から約80名の参加を頂きました。

二月十日「世界一剣道教室」に世界選手権個人優勝の高鍋進先生(神奈川県警)を講師に招き開催する予定でしたが、全日本剣道連盟60周年記念事業と重なり講師の都合が付かず残念ながら、中止となりました。次年度も各種大会・講習会等を実施致しますので、皆様方のご協力をお願い致します。

審査部会



部会長
 堀江 範雄

平成二十四年度本部会は、年間4回、若狭地区2回の剣道段位審査会及び、剣道形講習会の、形講師、審査員及び係員として、連盟開催の行事に従事した。

初めて、係員として従事した会員もいたが、回数を重ねる毎に、滞ることなくスムーズな進行となった。次年度も、スムーズな進行を心がけていきたいと思っています。

広報委員会



委員長
 坂本 裕一郎

広報委員会では、剣道だよりの編集・発行および連盟ホームページの掲載・管理を行っています。

剣道だよりは、当連盟の広報紙として今号で七十九号を数えますが、平成十九年度からは年四回に発行回数を増やし、各種大会の結果や行事の報告のほか、少年剣道団体、中学

校・高校・大学剣道部、実業団、各地区剣道連盟等の活動紹介、女性剣士のリレーエッセイなど、県内各地で活躍する剣士の皆さんの記事でできるだけ多く掲載するよう努めます。

ホームページでは、大会結果の速報や行事予定など、より迅速に、きめ細かい情報を提供することとしています。

平成二十五年度は、剣道だよりとホームページの内容について、より充実を図るとともに、剣道だよりを会員の皆様のお手元に確実にお届けできる体制をつくりたいと考えています。

今後とも、広報委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高校委員会



委員長
 岩谷 治彦

平成二十一年度より、部長として3年間ご尽力をいただきました八田幸明先生の異動に伴い、後任に杉田宏憲先生を新たにお迎えして、本年度の諸行事をスタートいたしました。今年度も強化部の先生方が中心と

なり早い段階から国体に向けての強化を行いました。特に7月から北信越国体までに富山、香川、岡山、大阪、京都、愛知、滋賀と県外遠征を中心に強化を行い、例年以上の手応えを感じつつ大会に臨みました。今年には新潟でインターハイがあり、男女とも新潟が本命とされていましたが、福井県チームは男女とも強化錬成で培ったチームワークと経験を生かし、素晴らしい試合を展開しました。圧巻だったのは男子の石川との初戦です。5-0と完封勝ちを収め、勢いに乗りました。結果は近年稀に見る大混戦となりましたが、男子は見事優勝し、1枠しかない本国体への切符を手に入れました。女子は惜しくも2位でしたが、2年生の吉長選手(福井)と小堀選手(美方)が着実に力をつけてきており、来年が非常に楽しみな結果となりました。その後、岐阜で行われた国民体育大会では、強豪の岡山県と対戦し、勝利することはできませんでしたが、素晴らしい試合内容で、福井県が今後全国で活躍するための方向性を示してくれました。

後に迫った福井国体に向けて専門部としても、全国の強豪校を招待し錬成会を行うなど、長期の強化策を練ることで、全国で活躍できる福井県を作っていきたいと考えます。

少年委員会

委員長 船田久三郎

平成二十四年度活動報告については、左記のとおりです。

一、福井県ジュニア育成強化稽古会の実施について

平成二十四年二月五日(日)福井県立武道館において、第六回福井県ジュニア育成強化剣道錬成大会を開催し、各部門においてベスト八以内に入賞した四十八名(小学二年生以上)の選手を、平成二十四年度強化育成選手に指定し、県立武道館を会場に、一年間を通じて(毎月一回)技術力の向上を図ることを目的に実施しました。

二、北信越優秀チーム招聘剣道強化合宿について

同年八月十八日から十九日(土・日)までの二日間、富山市大山社会体育館において、北信越優秀

チームが一堂に会して強化合宿を行い、当県からは二チームが出場し、充実した内容の遠征を行うことができました。

三、平成二十四年度福井ジュニアサポート事業について

福井ジュニアサポート事業強化選手として、小学六年生の男子七名及び女子七名の計十四名を、同年九月二日(日)静岡県小山町総合体育館において、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会強化錬成会が開催され、関東、名古屋、大阪などの強豪チームと試合稽古を行い、近年、経験したこともない充実した内容の遠征を行うことができました。

四、第七回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会について

同年九月十六日(日)大阪市舞洲アリーナにおいて、同大会が開催されるに当たり、コーチとして堤腰一昭先生、塚田直人先生の御尽力をいただきながら六回の強化稽古会を行いました。その結果、すばらしい成績を上げることができました。

五、第三回福井県少年剣道強化錬成会の実施について

同年十二月二十三日(日)福井県立武道館において、強化錬成会を開催しました。県内の剣道教室

など、五十二チーム(約二百六十名)が参加し、練習試合及び申合せ試合を行い、少年剣道の技術の向上と交流を図ることを目的としています。県内の少年剣道教室は、まだ半分程度に留まっており、一チームでも多くの教室に参加していただくために、魅力ある少年剣道強化錬成会になるように努力したいと考えています。

居合道委員会

委員長 西出和男

当委員会では、兼ねてより課題であります、居合道の普及と底辺拡大レベルアップに努力を重ねている所でございます。

二十四年度の活動は、七月十五日の居合道講習会、昇段審査会では、石川剣連の先生方にお越しを賜り実施をさせていただき、今年度で4回目となり、福井県の居合道普及、発展にお力添えを頂いている所でございます。

また八月十九日には、第25回県居合道大会が行われ、少しずつではありますが参加選手も増えてまいりました。これも委員、会員の皆様方

のおかげと感謝申し上げます。

八月八・九日京都中央講習会、九月三十日には、中央講習会受講者による伝達講習会を開催いたしました。

その他、二月二十四日、合同稽古会には土井先生（八段）にお越しを賜り、開催致しました。今後も県外より高段の先生方にご指導を頂き、レベルアップにつながればと計画を

していきたいと思っております。今後とも「剣居一体」という考え方で努力して参る所存でございます。居合道人口増加に皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力の程、よろしくお願

女性委員会



委員長 遠山 証子

女子剣道審判講習会伝達講習会、年2回の実施

【二回目】

平成二十四年六月十日(日)

於 県立武道館

講師 堀江範雄教士七段

堀江ユミ六段

江指恵五段

剣道中央講習会（東日本）の伝達講習会も兼ねて実施

各地区より指導者四十一名の参加
午前の部

「試合・審判に関わる全剣連の動向」「日本剣道形」「審判法」

午後の部

「木刀による剣道基本技稽古法」「審判法」「救急法」「稽古会」

【二回目】

平成二十四年十一月二十四日(土)

於 越前市朝日小学校校体育館

講師 堀江ユミ六段

江指恵五段

各地区より約二〇名の女性剣士の参加
午前の部

「日本剣道形」

「日本剣道形」

午後の部

「日本剣道形」「審判法」「稽古会」

第十一回宮本武蔵顕彰

お通杯女子剣道大会に参加

平成二十四年十月二十一日(日)

於 宮本武蔵顕彰武蔵武道館

(岡山県美作市)

七名参加

個人戦(ベスト十六 新井)

団体戦(初戦敗退)

大会報告行事報告

剣道・居合道 初稽古

平成二十五年一月六日(日)

於 福井県立武道館

厳しい寒さが続く平成二十五年の年明け、一月六日に福井県剣道連盟剣道・居合道の初稽古が開催されました。



小雨が降る天候にもかかわらず、県内各地の小学生から一般まで、例年を上回る約一五〇名の参加がありました。

剣道は剣道大道場で、全員での素振りの後、一般が元立って学生が掛かる地稽古、小中学生と高校・大学・一般の二つに分かれての地稽古と、気合十分に、熱気溢れる稽古を行いました。

居合道は剣道小道場で、お互いに向かい合つての形の稽古など、緊張感のある充実した稽古を行いました。それぞれが今年一年の精進を誓い、気持ち新たにしていきました。

冬季高校剣道選手権大会

平成二十五年一月二十日(日)

於 福井県立武道館

男子団体は第1シードの高志を敦賀が粘り強い試合で勝利し、続く準決勝北陸戦も危なげない試合で勝利し、決勝へと駒を進めました。混戦が予想された第3シードの福井ゾーンですが、啓新が素晴らしい試合を展開し、福井に劇的な勝利を収めました。しかし、続く美方戦では代表戦までもつれましたが、美方が勝利し、敦賀気比との準決勝に駒を進めました。この試合も代表戦にもつれ込みましたが、新人戦2位の敦賀気

比が踏ん張り、決勝へと駒を進めました。決勝では敦賀気比が先鋒戦で勝利するものの、敦賀が勝負をあきらめない持ち前の粘り強さを発揮し、見事逆転優勝を決めました。

女子団体は新人戦優勝の啓新が、準決勝で優勝候補の北陸を中堅戦のリードを守りきる、素晴らしい試合内容で撃破しました。第2シードの福井は美方に逆転勝利を収めました。準決勝では敦賀が試合の流れをつかみ福井に勝利、決勝は啓新対敦賀の試合になりました。決勝戦では、次鋒、中堅と啓新が勝利し、優勝に王手をかけました。敦賀も副将戦で勝利し、一矢報いますが、流れは変わらず大將戦も啓新が勝利し、全国選抜大会への切符を手に入れました。男女とも接戦が多く見応えはありましたが、内容的には北信越大会、全国大会で活躍するレベルにはまだまだという印象を持ちました。どのチームもそれぞれの目標に向かって、今まで以上に精進してほしいと思います。

- 男子団体の部
- 優勝 敦賀高校
 - 二位 敦賀気比高校
 - 三位 北陸高校
 - 三位 美方高校



- 女子団体の部
- 優勝 啓新高校
 - 二位 敦賀高校
 - 三位 北陸高校
 - 三位 福井高校



福井県中学校冬季剣道強化錬成大会

平成二十五年一月二十七日(土)
 於 敦賀市立体育館
 男子36校女子31校で福井県中学校冬季剣道強化錬成大会が行われました。

男子団体準々決勝

中央中 2-2 三方中

(本数勝ち)

藤島中 2-1 松陵中

鯖江中 2-1 丸岡中

栗野中 2-2 武生六中

(本数勝ち)

準決勝

中央中 3-0 鯖江中

藤島中 2-1 栗野中

決勝

中央中 2-2 藤島中

(本数勝ち)

女子団体準々決勝

藤島中 4-0 大東中

三方中 0-0 森田中

(代表勝ち)

成和中 1-0 中央中

明倫中 1-1 鯖江中

(代表勝ち)

準決勝

藤島中 2-0 成和中

三方中 3-2 明倫中

決勝

藤島中 3-2 三方中



男子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將
中央中	上村 周	増田	戸嶋	牧野	上村 哲
	⊗ ↓	⊖ ×			×
藤島中	吉岡	要川	北川	荒谷	飯田
			⊗	⊗	

女子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將
藤島中	小辻	吉川	黒澤	北川	八幡
	⊗ ×	⊖ ×	⊗		⊖ ↓
三方中	西村	二本松	渡辺	鈴木	田辺
				⊗ ⊙	

第61回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
福井県予選会試合結果

平成二十五年一月二十七日(日)
於 福井県立武道館

平成二十五年一月二十七日(日)に
県立武道館で標記の予選会が開催さ
れ、各部で優勝した選手が代表とし
て、平成二十

五年四月二十
九日(祝)に
大阪市中央体
育館で開催さ
れる第61回全
日本都道府県
対抗剣道優勝
大会に出場し
ます。



第61回全日本都道府県対抗
剣道優勝大会 福井県選手

監督 柳原 潤一郎 教士七段
先鋒 梅田 圭仁 参段

(福井工業大学附属福井高校)
次鋒 辻内 勇介 参段

(福井工業大学)
五将 中村 好伸 五段

(福井刑務所)
中堅 西川 航平 五段

(鯖江中央中学校)
三将 前田 浩由 五段

(福井県警察機動隊)

副将 畑 祐一郎 錬士六段
(福井テレビジョン株式会社)
大将 堀江 範雄 教士七段
(福井県警察本部)

第7回 福井県ジュニア育成
強化剣道大会

平成二十五年二月三日(日)

於 福井県立武道館大剣道場

平成二十五年二月三日(日) 福井
県立武道館において、第七回福井県
ジュニア育成強化剣道大会が開催さ
れました。

本大会において、二年生から五年
生までの各学年・各部門において、
ベスト八までに入賞した選手を対象
に、毎月一回、福井県立武道館を会
場に、本年三月から翌年一月までの
十一回にわたり、県ジュニア育成強
化稽古会を開催します。また、上級
生を対象に、中体連との連携強化錬
成会にも参加しています。

選手が全国レベルに対応できる技
量を目指し、選手の成長と発達に対
応しながら、その可能性を最高度に
引き出すため、少年剣道段階からの
選手発掘、育成及び強化の統一した
方針を策定しています。
試合結果については、次のとおり
です。

第7回福井県ジュニア育成強化剣道大会結果

	優 勝	準優勝	第3位	第3位
1年生の部	武道学園 岡田 直樹	福井東部少年剣道教室 萩原 徳紘	鯖江剣道スポーツ少年団 守 大翔	鯖江剣道スポーツ少年団 森 陽輝
2年生の部	福井養正館 崎元 蓮太	織田剣道スポーツ少年団 三原 瑚白	武道学園 山本 凌大	福井東部少年剣道教室 川嶋 士蓮
3年生の部	福井養正館 刀根 徹平	豊剣道教室 大和 泰雅	向笠剣道スポーツ少年団 奥村 龍也	鯖江剣道スポーツ少年団 森 恵誠
4年生男子の部	木田剣道スポーツ少年団 岡田佳志彦	丸岡剣道スポーツ少年団 山本 悠輔	新風館愛宕坂道場 齊藤 光希	鯖江志士樹館道場 中村翔太郎
4年生女子の部	王子保スポーツ少年団剣道部 井村 歩加	福井養正館 大矢ひかる	朝日スポーツ少年団 八本木萌心	向笠剣道スポーツ少年団 南元 優那
5年生男子の部	福井養正館 田崎 健斗	福井東部少年剣道教室 五十嵐拓哉	木田剣道スポーツ少年団 増永悠希哉	福井養正館 保花 俊
5年生女子の部	敦賀市剣道スポーツ少年団 松井 実唯	福井東部少年剣道教室 宮崎 吏央	向笠剣道スポーツ少年団 奥村 莉菜	栗野剣道教室 竹田ころろ
6年生男子の部	丸岡剣道スポーツ少年団 坂本 一晃	丸岡剣道スポーツ少年団 橋本 恭佑	武道学園 八幡桂志朗	福井少年剣道クラブ 中野 陽登
6年生女子の部	福井養正館 山川 咲愛	向笠剣道スポーツ少年団 田辺 有羽	木田剣道スポーツ少年団 笠嶋 璃奈	福井養正館 堤腰 琴菜



5年生男子



6年生女子



6年生男子



4年生女子



4年生男子



5年生女子



1年生



2年生



3年生

第22回北信越高等学校剣道 新人大会

平成二十五年二月二日(土)～三日(日)

於 砺波市庄川体育センター

女子団体予選リーグ

Bブロック

福井 2-1 分水

福井 1-3 長野西

Cブロック

敦賀 2-1 星陵

敦賀 2-1 南砺福野

Fブロック

啓新 3-2 高岡

啓新 0-1 長野日大

Hブロック

高志 0-2 羽咋

高志 1-1 長野商業

(本数負け)

女子団体決勝トーナメント一回戦

敦賀 0-4 新潟商業

男子団体予選リーグ

Aブロック

福井 3-1 富山工業

福井 2-1 金沢桜丘

Cブロック

気比 3-2 松代

気比 2-1 砺波

Fブロック

北陸 0-4 屋代

北陸 2-0 富山東

Hブロック

高志 0-1 新潟明訓

高志 3-0 富山

男子団体決勝トーナメント一回戦

福井 1-2 東京学館新潟

気比 0-3 新潟第一

北信越新人大会では、男子団体において福井高校、敦賀気比高校が、女子団体においても敦賀高校が予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進めた。3校とも決勝トーナメントの1回戦で惜しくも敗れたが、素晴らしい試合を見せてくれた。





第28回北陸三県少年剣道錬成大会

平成25年 3 月 3 日(日)
於 小松市運動公園末広体育館

- 中学生の部
 優秀賞 三方沈着勇断道場A 福 井
 優良賞 木田剣道スポーツ少年団A 福 井
- 小学生高学年の部
 優良賞 福井養正館A 福 井



講習会を受けて

平成二十五年三月二十三日(土)

於 福井県立武道館

石田洋二先生、真理子先生の講習会を受講させて頂くにあたり、三年前とは違った緊張感を覚えました。福井での国体を控え、両先生方から全国トップレベルの技術を少しでも吸収しようと、受講した方々はじめ私も気が引き締まる思いでした。

一日目は女子は真理子先生に講習頂きました。出足と引きつけを素早く行うこと、踏み込み足を強く踏むコツなど足捌きを重視した内容が多く、どのような機会でもしつかりと有効打突をする為にはやはり下半身の強化が最も必要だと感じました。そして遠間からの打ち込みを通して、相手と合気になること、自分の打てる間合を見極める感覚を掴むことが出来ました。

二日目は、男女共に洋二先生の講習でした。大道場の横幅を使い長い距離を素早くすり足で進むのはとてもきつく、辛くなるとすぐ左足の脛が曲がってしまい、基礎の難しさを改めて感じました。切り返し、打ち込みの後技の稽古に入ると、技前を自ら考え工夫し有効打突をするというとても実践的な内容になり、柔軟な足捌きや手首、鋭い出足や強い踏

み込み足、充実した氣勢など二日間教えて頂いた要素全てが関連しておりとても充実した内容となりました。地稽古では、真理子先生の軽い足捌きから繰り出される展開の早さを体感し、私もこのようになりたいと強く思いました。私が全国の舞台で勝つには、今やるべきは足捌きの鍛錬だなと改めて課題を見つけることができ、これからの稽古に活かしていきたいと思えます。

(伊藤藍子 記)



第35回全国スポーツ少年団 剣道交流大会

平成二十五年三月二十五(月)～
二十七日(水)
於 佐賀県総合体育館

平成二十五年三月二十五日～二十七日、佐賀県総合体育館にて第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。福井県代表として、団体の部(小学生)に福井養正館スポーツ少年団、個人の部(中学生)男子に岡田悠貴彦君(木田剣道スポーツ少年団)、女子に中山知実さん(木田剣道スポーツ少年団)が出場しました。満開の桜並木に囲まれた佐賀県総合体育館において、一日目は開会式、合同基本錬成、交換交流会が行われました。二日目は団体及び男女個人戦の予選リーグが行われ、三日目は各部門の決勝トーナメント及び閉会式が行われました。各県代表とも厳しい予選を勝ち上がったの参加のため、高レベルの試合が展開されました。小学生団体及び女子個人戦は日頃の



力がいま一つ出ず残念ながら予選突破が出来ませんでした。中学個人の岡田君は、知名度のある愛媛県及び大阪府の選手に勝ちリーグ一位で予選を突破し、決勝トーナメントで熊本代表の黒川皓平選手に勝ち準々決勝に進出しました。準々決勝では北海道代表の高松詩朗選手に善戦空しく敗れ、準決勝進出はなりませんでした。団体戦、男女個人戦ともに決勝戦まで観戦することが出来、全国のハイレベルの試合の素晴らしさを本県代表の選手たちも実感できたと思います。また、小学生の選手たちは、他県の多くの選手と交流が出来、再会を誓いあつておりました。この大会の経験を生かし、更なる剣道の研鑽に努め、福井県の剣道界を担ってほしいと思います。

平成二十五年年度 東京国体成年男女選手選考会

平成二十五年三月二十四日(日)
於 福井県立武道館 剣道大道場
成年女子



先鋒 細川 梨絵
(日本体育大学助手(ふるさと選手))
中堅 山田 聖子
(福井工業大学附属福井高校)

成年男子
大将 森 宜子 (主婦)

先鋒 中村 圭作 (福井県警察機動隊)
次鋒 瀬尾 祐輝 (福井県警察機動隊)
中堅 畑 祐一郎 (福井テレビジョン株式会社)

副将 堤腰 一昭 (㈱アイビックス)
大将 西川 譲 (足羽高校校長)



平成二十五年全日本都道府県対抗 女子剣道大会 選手選考会

平成二十五年三月二十四日(日)
於 福井県立武道館 剣道大道場

先鋒 高校生

(6月インターハイ県予選会個人優勝者)
次鋒 伊藤 藍子 (国士館大学)
中堅 山田 聖子 (福井工業大学附属福井高校)

副将 高嶋 寿美 (藤島高校教諭)
大将 道内由佳里 (金井学園職員)

第22回 全国高等学校選抜剣道大会

平成二十五年三月二十七日(水)～
二十八日(木)
於 愛知県春日井市総合体育館

男子 敦賀高校

予選リーグ
敦賀 0-0 市立沼田(広島県)
敦賀 1-1 浜名(静岡県)
予選リーグ敗退

女子 啓新高校

予選リーグ
啓新 0-0 三重(三重県)
啓新 0-0 広島翔洋(広島県)
予選リーグ敗退

女子団体には啓新高校が出場した。予選リーグ一試合目の三重高校との試合、副将戦まですべて引き分けで勝負は大将戦までもつれた。大将の若宮も最後まであきらめない試合を展開したが惜しくも敗れた。二試合目は強豪広島翔洋であったが、そのスピードとパワーに圧倒され三〇で敗れた。男子団体には敦賀高校が出場した。予選リーグ1試合目の浜名高校との試合では先鋒村田が素晴らしい面を決め先取したが、次鋒が敗れ、一―一のまま大将戦にもつれ込んだが、大将小河が敗れ、二―一で敗戦となった。二試合目は相手のスピードと勢いに圧倒され三―〇で敗れた。

みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

武生西剣道スポーツ少年団

武生西剣道教室として昭和四十年にスタートしたわたしたち武生西剣道スポーツ少年団は、もうすぐ活動を開始して五十年になる伝統あるスポーツ少年団です。

昭和六十年には活動が認められ文部大臣賞もいただきました。

「わたしたちは、剣道を通じて心身の練磨に励みます。わたしたちは剣道を通じて友情の輪を広げます。」

これが当少年団の修行目標です。日々練習する際、必ず全団員14名で修行目標を唱和し、団旗にもある「誠心」の言葉を胸に基本稽古を中心に週三回練習をしています。

そして基本練習とは別に早朝、暑中稽古と稽古を一週間行います。登校前六時半からの稽古ということもあり、指導者、団員、保護者が三位一体となり協力し合って活動を行っています。

○指導者

山本 聡実（指導者代表）
中村 圭三



宮川 保則
堂前 光夫
山下 博士

江守の里少年剣道教室

江守の里少年剣道教室は、今年で三十六年目を迎えます。林茂夫先生をはじめ六名の先生方の指導のもと、社南小学校体育館で活動しています。現在、部員数は二十六名で、基本と



精神力を重視しながら、礼儀を重んじ稽古に励んでいます。仲の良さが自慢の教室で、いつも和気藹々としていて、上級生は下級生のお世話をよくしてくれます。教室を卒業された先輩方も、時間がある時は後輩の指導に来て下さいます。

稽古は週三回。試合は県内各大会の他、県外の大会にも参加しています。毎年夏と冬には一週間の暑中稽古・寒稽古があり、最終日には合宿を設けているのですが、皆、この合宿を楽しみに、暑い日も寒い日も嫌がらず、日頃から稽古を頑張っています。教室の「文武両道」の旗のもと、剣道と勉強の両立を目標に掲げ、

子供達は一生懸命頑張っています。
活動場所 社南小学校体育館
活動日
水・金曜日 十七時三十分～十九時
土曜日 十二時三十分～十五時

明倫中学校剣道部

私たち、明倫中学校剣道部は、男子10名女子13名で、体育館2階にあるトレーニング場で、顧問の先生のご指導の下、日々の稽古に一生懸命取り組んでいます。平日の練習時間は、季節によって異なります。夏は午後4時半から2時間、冬は午後4時から1時間程度です。冬は練習時



間が短いので練習内容の充実に努めています。冬の練習は、体幹強化、剣道に関する基礎能力の向上、氣勢の充実の3つを目標に、練習場を縦に長く使い、打ち返しを中心にした追い込み稽古、面と小手面・引き技の打ち込み稽古です。追い込み稽古では、疲れて「やる気」がなくなりかけることもありますがお互いに声を掛け合い、練習に取り組んでいます。

さらに、そのような取り組みを通して、校歌の歌詞にもある「人倫五常」(父子有親、君臣有義、夫婦有别、長幼有序、朋友有信)の心づくりもめざしています。

学校、顧問の先生、そして、家族への感謝を忘れずに、より一層練習に励みたいと思います。

明倫中学校剣道部男子キャプテン
藤井 友喜

明道中学校剣道部

明道中学校剣道部は「堅忍不拔(けんんにんふばつ)」「意味：どんなことがあっても心を動かさず、じつと我慢して堪え忍ぶこと」を部訓として、日々稽古に励んでいます。

ここ数年、着実に力をつけてきた部活です。地区や県大会で上位に入賞し、二年連続で北信越大会出場、



個人で全国中学校剣道大会出場を果たしました。百本切り返しなどの追い込み、練習試合での反省を踏まえて毎日工夫している技の練習、どんな相手にも中心を攻める意識が明道を強くしました。今の男子チームは、パワーもスピードもそれほどありませんが、個々の力をつないで接戦を勝っていくチームです。女子は、三名しかいませんが、貴重な勝利を目指して技の練習に励んでいます。

四月からは新一年生を迎えて、男子は団体で全国大会出場、女子は団体戦での一勝を目指して、チーム一丸となってさらに厳しい稽古を積ん

でいきます。

部員 男子十二名 女子三名
(平成二十五年三月現在)

活動場所 体育館二階柔剣道場

練習時間

平日 十六時三十分～十八時三十分

休日 八時三十分～十二時



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十五年二月十七日(日)

於 越前市武道館

「初段」 三十二名

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 網田 誉紀 (今庄中1年) | 橋本 悠斗 (武六中1年) | 赤星 克範 (今庄中1年) | 三田村 禎士 (武六中1年) | 小林 正佑 (丸岡中1年) | 西出 正輝 (丸岡中1年) | 山下 優也 (武六中1年) | 前田 耕太郎 (足羽一中2年) | 山本 遥 (池田中2年) | 松山 元 (武六中2年) | 柳田 響 (春江中2年) | 加藤 将太郎 (中央中2年) | 前川 左京 (坂井中2年) | 嶋 晴哉 (至民中2年) | 上田 一輝 (武六中2年) | 北出 貴大 (坂井中2年) | 木村 慎之介 (鯖江中2年) | 橋本 剛司 (明道中2年) | 泉 宗汰 (坂井中2年) | 岡島 旬 (坂井中2年) | 赤星 純平 (今庄中2年) | 大久保 仁 (南越中2年) | 佐々木 大吾 (坂井中2年) | 宇野 諒哉 (鯖江中2年) |
|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|

「参段」 十名

- 山田浩毅 (名工大1年)
- 軽部有輝 (武生高3年)
- 北橋雅貴 (藤島高2年)
- 大森祐也 (敦賀比高2年)
- 西森英雄 (武生高2年)

「貳段」 十五名

- 岡田英介 (春江中2年)
- 小林宏崇 (坂井中2年)
- 上出康暉 (金津中2年)
- 神門佑紀 (武六中2年)
- 坂口侑志 (足羽一中2年)
- 吉田溪介 (武三中2年)
- 田中壮平 (鯖江中2年)
- 高鳴魁斗 (中央中2年)
- 斎藤拓泰 (武生高2年)
- 丸山拓也 (三国高2年)
- 齋藤敬悟 (金津高2年)
- 上原大智 (県立大2年)
- 川島楓智 (大東中2年)
- 中村仁美 (成和中2年)
- 軽部茜 (明倫中2年)

- 石井僚 (高専1年)
- 河越洋輔 (会社員)
- 遠藤真 (丸岡中1年)
- 加藤菜摘子 (中央中1年)
- 小林朋加 (大東中2年)
- 太田津巴芽 (大東中2年)
- 石田萌絵 (大東中2年)
- 川端りえこ (中京大3年)

「伍段」 四名

- 山田英典 (教員)
- 山田聖子 (教員)
- 岸下俊宏 (団体職員)
- 角野弘 (会社員)

「四段」 三名

- 井上裕太 (教員)
- 伊部一徳 (会社員)
- 岸本雄一郎 (警察官)

- 川淵元暉 (県立大2年)
- 楠敬宣 (会社員)
- 脇本康誠 (会社員)
- 梅原保高 (自営業)
- 堀田実希 (金津高2年)



ペンリレー 女性剣士の部屋

敦賀市剣道連盟 河瀬 亜希代

私が剣道を始めたのは中学の時。それほど剣道の盛んな地域ではなかったのですが指導者も来ない部活は遊び半分でした。た記憶しかありません。その後、敦賀高校に進学した私は迷わず剣道部に入りました。ところが、高校の部活は中学と比べたらまさに地獄！凄く辛くて厳しいものでした。

当時は、身体が弱く細身だった私がよく続いたと今更ながら感心しています。高校で熱心にご指導くださったT先生に鍛え抜かれた根性は今も健在です。

武道館では「もつと力を抜け！」と言われながらも、不器用な私には根性しかなく、なかなか上達しませんが、諸先生方やお仲間の皆さんは根気強く丁寧に指導くださり、本当に感謝をしながら稽古を続けています。

そんな意味で剣道を続けてきて良かったと思っていますが、その原動力には娘の存在が大きいです。十二年前「ママがやってるから、私も剣道する。」と言って小学校一年から剣道を始めた娘は成長し、我が母校である敦賀高校剣道部に入り、良き指導者と仲間に出会い毎日厳しい練習を重ね、昨夏男女アベックでのインターハイ出場を決めた時には、身震いするほどに興奮し、感動しました。

今春、進学し新しい剣の道と出会い、更に成長するであろう娘に負けじと私も自彊不息(じきようやまず)の精神で生涯剣道を目指し日々精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、いつも嫌な顔ひとつせず稽古に送りだしてくれる家族に心から感謝しています。本当にどうもありがとうございます。



平成25年 5月～9月 事業計画

期	日	曜日	事業名	場所	開催者	備考	
5	1～2	水～木	剣道 八段審査会	京都市	全剣連		
	2～5	木～日	第109回全日本剣道演武大会	京都市	全剣連		
	3	金(祝日)	居合 八段審査会	京都市	全剣連		
	3	金(祝日)	居合 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連		
	6	月(祝日)	剣道 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連		
	11	土	理事会 (Am10:)	県武道館	全剣連		
	11	土	剣道 七段審査会	名古屋市	全剣連		
	12	日	剣道 六段審査会	名古屋市	全剣連		
	12	日	剣道段位審査会	県武道館・若狭町	県剣連		
	18～19	土～日	第18回女子審判講習会	兵庫県	全剣連		
	22～26	水～日	第51回中堅剣士講習会	奈良市	全剣連		
	18	土	北信越合同稽古会	福井市	県剣連		県立武道館
	19	日	評議員会、各地区理事長・各地区事務局長会議	福井市	県剣連		
25	土	女子伝達講習会	越前市	県剣連	越前市武道館		
5/31～6/2	金～日	県高校春季総体	県武道館	県高体連			
6	8	土	国体少年選考会	県武道館		県剣連	
	9	日	福井県知事杯・福井県剣道選手権大会	越前町		県剣連	10:00～ 三方体育館
9	日	県中学校剣道強化校錬成大会	若狭町	県中体連			
14	金	居合 六・七段審査会	北海道	全剣連			
14～16	金～日	北信越高校剣道大会	敦賀市	北信越高体連		敦賀市総合体育館	
15～16	土～日	居合 地区講習会	北海道	全剣連			
23	日	剣道形講習会	敦賀市	県剣連	市立体育館		
7	7	日	理事会	県武道館	県剣連	10:00～	
	12	金	居合 六・七段審査会	山口県	全剣連		
	13～14	土～日	居合 地区講習会	山口県	全剣連		
	14	日	第47回少年剣道錬成大会	県武道館	県剣連	9:00～	
	14	日	居合道講習会・居合道段位審査会	越前市	県剣連	9:00～	
	15	月(祝日)	第5回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都	全剣連		
	24～25	水～木	県中学校夏季競技大会 剣道競技	県武道館	県中体連		
27～28	土～日	平成25年度全日本少年武道錬成大会	東京都	全剣連共催			
8	3	土	県民スポーツ祭(高校)	県武道館	県剣連共催	中郷体育館(予定)	
	4	日	県民スポーツ祭(一般)	県武道館	県剣連共催		
	6～7	火～水	第34回北信越中学校剣道大会	石川県	北信越中体連		
	6～9	火～金	第60回全国高等学校剣道大会	佐賀市	全国高体連		
	11	日	剣道段位審査会	敦賀市	県剣連		
	12	月	第55回全国教職員剣道大会	和歌山市	全学剣連		
	17～19	土～月	第43回全国中学剣道大会	浜松市	全国中体連		
	17	土	剣道 七段審査会	山形県	全剣連		
	18	日	剣道 六段審査会	山形県	全剣連		
	18	日	第26回福井県居合道大会	県武道館	県剣連		予定 9:00～小道場
	24	土	剣道 七段審査会	香川県	全剣連		
	25	日	剣道 六段審査会	香川県	全剣連		
25	日	北信越国民体育大会	新潟県	北信越国体事務局			
25	日	第42回福井県少年少女剣道錬成武生大会	越前市	県剣連共催			
9	7	土	北信越合同稽古会	上越市		剣道大道場 9:00～ 9:00～16:00	
	7～8	土～日	第40回居合道中央講習会	京都市	全剣連		
	8	日	第52回全日本女子剣道選手権大会	兵庫県	全剣連		
	15	日	第59回全日本東西対抗剣道大会	山梨県	全剣連		
	15	日	第8回全日本都道府県対抗少年優勝大会	大阪市	大阪府剣連		
	23	月(祝日)	第61回福井県剣道大会(一般)	県武道館	県剣連		
	28	土	第61回福井県剣道大会(中学生)	県武道館	県剣連		
	29	日	剣道形講習会	県武道館	県剣連		
	29	日	居合道伝達講習会	県武道館	県剣連		

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616